



萩市立小川小学校

小川っ子だより

第3号

令和元年 6月14日

お・・思いやりのある子

が・・がんばり続ける子

わ・・わかる喜びを感じる子

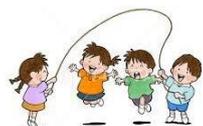
学習や活動を通して、成長している子ども達



学校の数種類のあじさいが咲き始め、日々に咲く花の数も増え、疲れを癒やしてくれます。また、栗の白い花とザクロの朱色の花が満開です。一方、プールからは、子ども達の歓声も聞かれるようになりました。



そして、夏野菜！小川小学校の夏野菜は、今年も、JA婦人部の高津部長さんと3名の部員さんの4名で、1. 2年生に植え方・育て方を教えていただきました。そのおかげで、キュウリ、ピーマン、トマトの夏野菜が、日ごとに大きく成長しています。



4月8日に行われた始業式と入学式。その日から26名の子ども達は、体と心を一杯に使いながら、学校生活を送っています。1. 2年生は「自分から元気にあいさつ」「友だちとなかよくあそぶ」「ろう下はしずかにあるく」を、3. 4年生は「みんななかよく助け合い 笑顔いっぱい なんでもちょうせん チーム3. 4年」を、5. 6年生は「一致団結 ～みんなでチャレンジ～」を、それぞれ学級目標に掲げ、授業や学校行事、委員会活動や係活動等を通して、学級目標の達成に向け、日々取り組んでいます。

1年生は、今では、国語の本が読めたり、字が書けたりできるようになりました。一輪車の練習にも取り組んでいます。6年生は、小川小学校の機関車役として、学校生活を引っ張り、自分のことも、学校のことも、全力で取り組んでいます。

7月19日の終業式まで、授業日は25日間。どんな成長が見られるようになるのでしょうか、楽しみです。

〔“ながら見守り活動”へのご協力をよろしくお願いしますー地域の宝である子ども達の安全のため〕

『5月28日午前7時45分頃、川崎市の登戸駅付近の路上で、スクールバスを待っていた小学生児童や保護者らが近づいてきた男に相次いで刺され、19名が死傷した』という痛ましい事件が発生しました。

また、全国では、子どもへの声かけやつきまとい事案なども発生していると聞きます。

このような痛ましい事故に子ども達を遭わせないためには、「より多くの方による“ながら見守り活動”が効果的である」との話を江崎幹部交番の所長様から話を聞きました。



“ながら見守り活動”とは、「地域の方が、ウォーキングやジョギング、買い物、犬の散歩、花の水やり等の日常的な活動を行いながら、防犯の視点をもって子どもの見守り活動を行う」ことや「事業者が、通常の事業活動を行いながら子どもの見守りを行う」ことです。

どうぞ、この“ながら見守り活動”を日常生活の中で行っていただければと思います。

なお、「子どもが被害に遭っている」「子どもが助けを求めてきた」時には、すぐに110番通報してください。

〔安全のため撤去しますー卒業記念の投てき板〕



運動場東側にある投てき板。これは平成24年度の卒業生（市原浩佳さん、井上拓己さん、尾木裕太さん、勝田萌夏さん、熊谷莉緒さん、田村明日香さん、野稻翔太さん）が卒業記念として制作したものです。しかしながら、「児童の安全確保」のため、撤去されることとなりました。



そこで、卒業生の思いを伝えるため、卒業記念品の投てき板を写真に写し、玄関前に掲示することとしました。